

本研修プログラムに参画する障害当事者の役割及び求められる資質等について

1. 本研修プログラムの参画する障害当事者の役割

- 本研修プログラムは、企画及び実施において、障害当事者の参画を得て、その視点を反映させ、また受講者が障害当事者と対話する機会を提供していくものとする。
- 当事者参画としては、以下の各役割での参画を図っていくものとする。

① 障害当事者アドバイザー

各社で本研修プログラムの実施に向けた企画を行う際に、障害当事者の視点で参画し、研修担当者に対し助言を行う又はともに企画立案を行う。

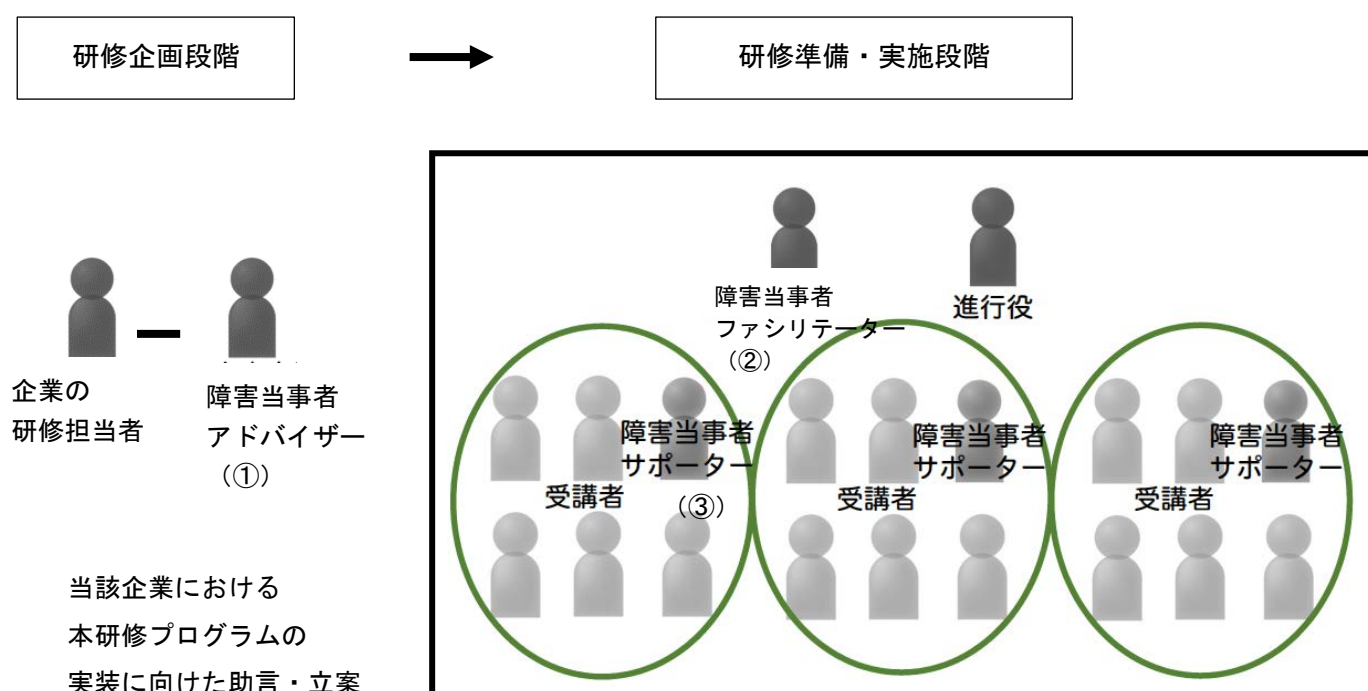
② 障害当事者ファシリテーター

研修プログラムの実施において、自らの体験を通じて「心のバリアフリー」の理念を伝える「語り」により、受講者に気付きを与え、また研修プログラムのファシリテーション*を行う。

* ここでいうファシリテーションとは、研修参加受講者が内容を理解し、効果的に参画できるよう、研修の進行や舵取り、サポートをしていくことをいいます。

③ 障害当事者サポーター

研修プログラムの実施において、障害当事者ファシリテーターをサポートするとともに、グループディスカッション時にグループの議論に加わり、ディスカッションのファシリテーションを行い、また受講者との対話を通じて気付きを与える。



2. 本研修プログラムに参画する障害当事者の資質等について

【役割に関わらず、参画する障害当事者が有すべき資質】

- 本研修プログラムの主旨を理解し、それに従った発言、対応が行えること。
- 特に、「障害の社会モデル」について理解しているとともに、自らの障害だけでなく、広く様々な種別の障害についても理解を持っていること。

【役割ごとに求められる資質】

①障害当事者アドバイザー

- 類似の研修で複数回ファシリテーターとしての経験を有するとともに、企業研修の実施・運営及び助言を行った経験を持つこと。

※なお、障害当事者が上記の要件を満たしていない場合は、他の専門家とともに、アドバイザーとしての役割を果たすことは可能である。

②障害当事者ファシリテーター

- 類似の研修におけるファシリテーターの経験があること。
- 受講者の気づきを促すべく研修全体をリードし、最後には研修全体の議論をわかりやすくまとめ、受講者に気づきの定着を図ることができる能力を持つこと。

③障害当事者サポーター

- ファシリテーターのサポート経験がある、またはグループディスカッションのファシリテーションの経験があること。
- グループディスカッションにおいて発言を促し、議論をファシリテーションできる能力を持つこと。
- 受講者の活発な発言を促すために、自らの体験などを通じた意見を話し、受講者との「対話」が持てること。